

給食の“おいしい”をつくる人

# 生産者さんに会いに行ってみた



稲葉 栄司さん

## 季節に合わせた 美味しい野菜を届ける

見学した稲葉さんの圃場では、白菜をはじめ、キャベツ、ブロッコリー、ナス、スイカなど、季節に合わせたさまざまな野菜が栽培されています。「自分が食べてみたいと思った野菜を作り、地域の皆さんに届けている」と話す稲葉さんは、新しい品種にも積極的に挑戦。土づくりでは石灰や堆肥を使い、定植後は防虫対策や生育の確認を重ねながら、一株一株を丁寧に育てています。直売所では珍しい品種も販売され、地域の人たちに旬の野菜の美味しさを届けています。

## 給食でもっと食べてほしい



「自分で作って、自分で食べても安心できる野菜を届けたい」という思いが、給食にもつながっています。地域で力を合わせて育てた旬の野菜を、ぜひ味わってほしいです。

### あとがき

「自分が食べても安心な野菜を届けたい」という真っすぐな思いが、こだわりの土作りや、一株一株を毎日見守る丁寧なお世話にしっかりと込められていました。子どもたちにいろいろな野菜を知ってもらえるように給食でも紹介していきたいです。  
〔すこやか給食センター豊里 管理栄養士〕

## 安定した野菜づくりの実現

退職後に農業を始め、「自分で育てた安心できる野菜を食べたい」という思いから農業を続けています。現在は複数の生産者で互いの畑を支え合う体制を整えており、天候や病害虫の影響で一人では出荷が難しい時でも、仲間同士で補い合うことで、学校給食や契約先へ安定して野菜を届けることができます。

